

# Large scale structure.

Dark energy pulsating hypothesis challenging mystery of cosmic large-scale structure. Even a hundred billion galaxies are distributed like bubbles (void) of aggregate space design structure.

Galaxies are distributed to the grid of bubbles.

Galaxy does not exist on the inside of the bubble.

That is a mystery of Cosmic Physics.

Oscillatory universe model to challenge its mysteries.

Repeated mini-big bang due to pulsation of the microcosm.

In each of its

Moving bubbles around galaxies formed by the previous mini-big bang, centered in the grid of bubbles.

**Oscillatory universe model.**

The size of large scale structure in several hundred million light-years.  
It has suggested that several hundred million light years away is the microcosm pulsation cycle.

**宇宙大規模構造**

宇宙大規模構造の壁が4億光年のサイクルで存在することは、小宇宙の脈動周期が4億光年であることを示している。より速くは観察され、より過去の観察と同じであり、宇宙の年齢137億光年の間に、137/4億回 脈動があったことを示す。

銀河が存在 (ボイド)

**Galaxies clumped together on a lattice.**

Cavity Galaxy does not exist.

**脈動宇宙モデル**

宇宙は脈動する小宇宙の集合体として形成されている。縮小限界があり、マイクロサイズから始まってはいない。

Mini-big bang

Microcosm group pulse

**海のさざ波**

小宇宙各々の全域が火の玉状態

従来のビッグバンに相当

Red dot: minivicban

宇宙の暗れ上がり

従来のビッグバンに相当。 Recombination of the universe

Ripples

The equivalent of the traditional big bang

脈動仮説)

本荘光史

## 宇宙大規模構造。

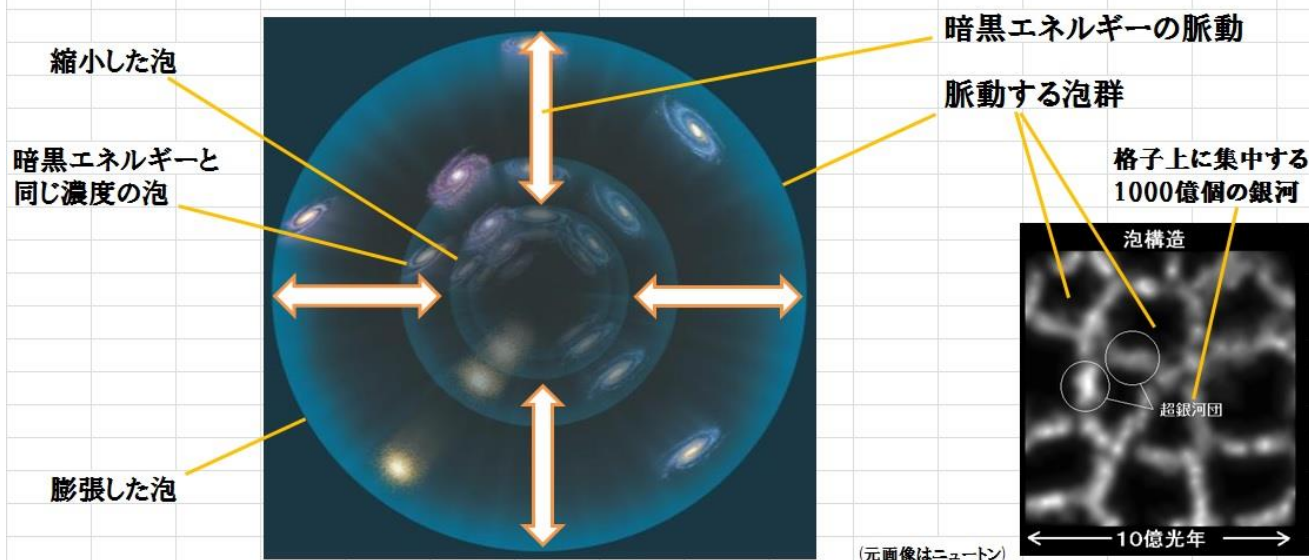
暗黒エネルギー脈動仮説が宇宙大規模構造の謎に挑戦。

宇宙大規模構造は数千億個もの銀河が泡(ボイド)の集合体の如く分布し、銀河は泡の格子部分に分布し、泡の内部には銀河が存在しないことが観測され、宇宙物理学の大きな謎となっている。各々の泡を小

宇宙とする脈動宇宙モデルがその謎に挑戦する。小宇宙の脈動によるミニ・ビッグバンが繰り返される毎に、以前のミニ・ビッグバンによって誕生した銀河が泡の周辺に移動して泡の格子部分に集中したものと考えられる。

## 暗黒エネルギー脈動宇宙モデル

- 1) 暗黒エネルギー脈動原理が宇宙大規模構造の謎を解明する。
- 2) 宇宙誕生の初期に、暗黒エネルギーの宇宙規模のさざ波が、宇宙全域に泡の集合体(大規模構造)を形成した。
- 3) 大規模構造の全ての泡各々が小宇宙として約3億光年の波長と周期で脈動し、加速膨張～減速膨張・停止～加速収縮～減速収縮・停止の脈動サイクルを繰り返している。
- 4) 各々の泡(小宇宙)の中で並行して、エネルギーガスの誕生～星の誕生～銀河の誕生と宇宙創世の行程が進み、約137億光年後に宇宙全体が今日の姿になった。
- 5) 誕生した銀河は泡の脈動により、泡の周辺部に追いやられ、宇宙大規模構造の泡の境界部分(格子)に銀河が集中し、泡の内部には銀河が存在しない。
- 6) 宇宙マイクロ波背景放射は、地球を囲む小宇宙群全てからの電波であり、あらゆる方向から飛来することとなる。



### ガン手術方法への提案

#### 提案1. 「ガンを高温血液で死滅させる」

ガン細胞は42.5度以上で死滅する。通常細胞は44度でも大丈夫との実験がある。体全体を高温にせず、ガン直前の血液のみを加熱するので体への負担が少ない。ガンに血液を供給する毛細管に近いガン組織から死滅するので、その先のガン組織へは血液が届かなくなるので全体が死滅する。

方法1) ガンに近い動脈血管に42～43度に体外で温めた血液を輸血する。

方法2) 腹腔鏡手術により、43度の温水をホースでガンに近い動脈血管に浴びせ続ける。温水は生理食塩水に3種類の抗がん剤を混入。

方法3) ガンに近い動脈血管を何らかの方法で温めて高温血液にする。血管を発熱体で囲む?

方法4) 動脈血管に注射針を挿入し、注射針の先端に設けた電熱発熱体に通電して血液を42.5度～43度に加熱する。

先端に発熱体を設けた注射針をガンに挿入して加熱する最先端ガン手術がある。その注射針を上記に転用する。

\* 現在極微細径の加熱針をガンに挿入させて加熱する手術がある。その方法よりもガン全体への温熱効果が期待できる。

#### 提案2. 「ガンに直接温水を浴びせて死滅させる」

方法1) 腹腔鏡手術により、体外で温めた43度の温水をホースでガンに30分間浴びせ続ける。温水は生理食塩水に3種類の抗がん剤を混入。腹部に溜まった温水は給水ポンプで体外に排水する。

\* 現在、ガン手術の後に温水を腹部に注水して洗う先例があり、転移が大幅に防げる。

この際に使用する温水は、生理食塩水に複数の抗がん剤を加え、42～43度に加熱して30分間洗浄する。

抗がん剤の濃度は点滴などの濃度の80倍。

従来、5年生存率が31%だったのを77.9%と飛躍的に向上させた。

滋賀医科大学、消化器外科、村田先生。

#### 提案3. 「癌に供給する血液を一定時間遮断して死滅させる」

脳手術に使われている技術で、血管にマイクロカテーテルを挿入し、バルーンを膨らませて血管を閉鎖して血流を遮断する。正常細胞が死なない限界にて血流を復活させ、同様の操作を繰り返す。

#### 提案4. 「高濃度の抗がん剤の使用を可能にする」

癌に近い動脈血管と静脈血管に2本の注射針を挿入し、高濃度の抗がん剤を混入した輸血を行いながら、そのガンからの静脈血管からの高濃度抗がん剤が混入した血液を体外に排出し、抗がん剤の副作用を抑制する。